

第三回 どうく童句コンクール

作品募集

狭山市発祥の童句

狭山市立博物館では、狭山市が発祥の地である「童句」のコンクールを開催いたします。「童句」は童話『かわいそうなぞう』で知られる狭山市にお住まいだった童話作家の故土家由岐雄氏が創始した、自分が純真な子どもの日に立ち返ってつくる俳句です。大人は幼い日に思いを馳せ、お子様は等身大の気持ちを含め、それぞれの童句の世界を表現してみてください。

第二回童句コンクール特選受賞作品

一般の部

手のひらの 土俵でしご踏む かぶとむし
菜の花は 蝶のお宿と 風が言う
新米の おにぎり 匂いから食べる
さかあがり 逆さ校舎に 桜降る
ひぐらしの シャワーをあびて 帰る道

子供の部

敬老日 長生きしてネと 祖母をもむ
運動会 もえる地面と 青い空
うつむいた 心を包む 星月夜
友達の 優しさ気づく 夏休み
海と空 たすと一つの 丸い青

幼い頃の思い出を言葉に託して、童句を詠んでみませんか？

一般の部・子供の部 各部門 特選5句 佳作20句 選出

応募締切 平成30年9月15日(土) 当日消印有効



池原昭治『残しておきたい狭山の風景』より「狭山稲荷山公園」

つちやゆきお 土家由岐雄プロフィール

明治37年東京都文京区小石川生まれ。『三びきのねこ』で第1回小学館文学賞、『東京っ子物語』で第9回野間児童文芸賞を受賞。童話『かわいそうなぞう』は現在も平和への思いを人々へ伝え続けています。昭和46年より狭山市入間川に転居。童句の振興に力を注ぎ、狭山市文化特別功労賞、埼玉県文化ともしび賞を受賞。平成11年7月3日逝去。狭山市の智光山公園には土家由岐雄の句が刻まれた童句碑が建てられ、訪れる人の心に、温かく優しい思いを届けています。



狭山市立博物館

主催:狭山市立博物館 童句コンクール実行委員会
協力:狭山童句研究会・童句振興協会

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山 1-23-1

お問い合わせ:狭山市立博物館内 童句コンクール事務局 ☎04-2955-3804

募集要項

●募集作品

未発表の童句（題材自由 有季・定型 三行書き 1人3句まで）

●選者

渡川誠(狭山童句研究会会長)・杉山隆二(童句振興協会会長)・前川紅楼（俳人・歌人）

●応募方法

住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ、お葉書・電子メール・FAX でご送信いただくか、博物館内に設置の応募箱へご投函ください。（尚、提出された応募書類等は返却いたしませんので、ご了承ください。）※締切当日消印有効

●応募先

郵 送：〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山 1-23-1
狭山市立博物館内 童句コンクール実行委員会
メ-ル：Info_scm@sayama-city-museum.com
FAX：04-2955-3811

●部門・賞

一般の部・子供の部(中学生以下)

各部門に 特選：5句 佳作：20句

特選に図書カード（二千円分）および賞状、佳作に賞状・記念品を贈呈いたします。

●入賞発表

平成 30 年 10 月 8 日（祝・月） 狭山市立博物館ホームページと館内掲示にて発表。

応募用紙（コピー可）



Two vertical dashed lines for writing.

Two vertical dashed lines for writing.

Two vertical dashed lines for writing.



ふりがな
氏名

年齢

住所 〒

電話番号